2,498

合

計

記入年月日 令和 4年度 事務事業評価表 (令和 3年度 の実績評価) 日 事業区ケ 事務事業名 入札契約事務 新規/継続 継続 事務事業No. 060503000063 政策体系上の位置付け 単独/補助 単独 020201 所属課 総合計画の施策名 0605 健全な財政運営の推進 財政課 06 みんなで築く自治のまちづくり 政策名 課長名 05 健全な財政運営の推進 管財契約G 施策名 グルー 03 ③効果的な予算執行 系 手段名 担当者名 財務会計上の位置付け 甘田 事業 一般会計 単年度繰返し (平成17 年度~) 細 予算科目 01 02 01 07 01 00 財産管理事業 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入 法令根拠・公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律、財務規則及びその他条例・規程・規則 事務事業の現状把握(その1) (D_0) (1) 事務事業の概要 ①事務事業の概要(事務事業の全体像) ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 入札や契約に関する法令等に基づく業務を行う。 入札契約事務は、一定金額以上の工事、業務委託の発注及び物品の調達等に ①入札案件を取りまとめ②入札参加業者選考委員会の開催③一般競争 入札参加業者選考委員会の開催(月2回) ・指名通知書の送付、一般競争入札の公告 入札や指名競争入札、見積合わせの執行、④落札業者と契約締結までを行う一 ・競争入札、見積合わせの執行 連の事務である。 【事業費の内訳】 (実績) 契約の締結 入札管理システム賃借料 198,000円 入札結果及び契約内容の公表 段 コンシェルジュデスク利用料 29 040円 ・職員や業者に対して入札契約事務に係る指導 ・ 公共工事の年間発注見通しの公表(年2回) 入札通知システム 132,000円 県入札参加システム利用料 電子通知システム使用料 350.961円 • 入札参加資格審査の申請 132000円 JCISシステム利用料 132.000円 (2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、 指標値の推移 02年度 03年度 04年度 05年度 06年度 (担当者の活動内容) ④活動指標 (活動量を表す指標) 単位 (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 工事契約件数 件 8900 8900 8900 8900 89.00 ・公共工事の年間発注見通しの公表(年2 **(** 業務委託契約件数 件 73.00 73.00 73.00 73.00 73.00 入札参加業者選考委員会の開催 競争入札の執行及び随意契約による契約。 件 40.00 40.00 40.00 物品購入契約件数 40.00 40.00 入札結果及び契約内容の公表。職員や業者 に対して入札契約事務に係る指導。 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 02年度 03年度 05年度 06年度 04年度 ②対象 (誰、何を対象にしているのか) 単位 ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標) (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 入札参加資格者数 社 2,484.00 2,484.00 2,484.00 2,484.00 2,484.00 1)入札参加資格を取得している業者 業務担当課数 課 37,00 37.00 37.00 37.00 37,00 2) 市役所内部の業務担当課 0.000.000.000.000.00∩2年度 03年度 04年度 05年度 06年度 (対象における意図の達成度 (この事業によって対象をどう変え ③意図 ⑥成果指標 単位 を表す指標) るのか) (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 件 不調件数 0.000.000.000.000.00入札により公正性、競争性、透明性を高 実際結んだ契約件数/当初契約件数 % 100.00 100.00 100.00 100.00 100,00 め、公共事業を適正に契約する。 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 02年度 04年度 05年度 06年度 03年度 期間限定 (3)投入量(事業費)の推移 (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 総投入量 国庫支出金 O 千円 \cap \cap 県支出金 千円 0 事 地方債 千円 \cap \cap \overline{C} 投 源 使用料・手数料 千円 0 内 0 費 訳 その他 千円 0 O 0 宇宙 -般財源 1,708 491 2,498 事業費計(A) 千円 1,708 491 2,498 4.00人 4.00人 4.00人 正規職員従事人数 量 03年度事業費 実績(千円) O4年度事業費 予算(千円) 12 委託料 13 使用料及び賃借料 491 2,234 13 使用料及び賃借料 費 σ 内 訳

491

合

計

				(桜川市行政評価システム)
事務事業名 入札契約事務		事務事業No.	60503000063	所属課財政課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃ど				
法律に基づく事務事業 自治体が業務を開始した 約制度の公平性が求められている。桜川市では、 ³				
導入、平成24年度から一般競争入札の対象を拡大				
便入札を実施した。				
(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者) からどんな意見や要望が寄せられているか?				
電子入札の導入の要望及び条件付き一般競争入札の参加範囲の拡大。(入札参加業者)				
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。				
評価項目				
①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) 				
現し続びついている 入札事務は専門性の高い事務のため、一定金額以上の入札契約行為を財政課で行うことは効率的な自治体運営に結びつく。				
状				
維②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)				
持 第24 242				
<u> </u>				
◎ はくられていた。 (は、ないには、ないないないない、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが				
向上余地がない 法律、条例、規則に基づき公平性、透明性を担保しており、成果を向上させる余地はない。				
④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)				
有 効 影響有				
効 「影響有				
□ ⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む))				
(他に手段がある場合) 具体的な手段、事務事業名 建設工事等入札参加審査事務				
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				
・				
<u>М</u>				
本				
⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) 公				
平				
性性は一体には、大学である。これは、大学には、大学には、大学には、大学には、大学である。				
【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)				
(1) 1次評価者としての評価結果		全体総括(振り返り		
	1777			なり事務の効率化が図られた。
①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地 ②有効性 □ 適切 ■ 見直し余地			この拡大防止のため郵便。	へれを取り入れた。 の現状にあった入札制度に見直してい
②有効性 □ 適切 ■ 見直し余地 ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地	1 N/ TE +			の現れにあった人間的反に充造してい
②				
(3) 今後の事業の方向性	Z1E-111	1 fe/e		(4)改革・改善による期待成果
□ 級フ ■ 処姓 ■ ユムサンルキキナクー	(複数回 5 ロロウ		対象性の35美	(終了・廃止・休止の場合は記入不要)
□ 終了 ■ 継続 ■ 改革改善を行:		の再設定 □ 生の改善 □		コスト
		さができる □		
				向
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策				
建設工事等入札参加審査事務を、今事業の一環としてある事業であるため、評価を今事業に統合する 成 維 果 持				
一				
(6)事務事業優先度評価結果				
				成果優先度評価結果
【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項				
【Check】 4. 確認及び改革改善に回じての指摘事項 「(1) 課長評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)				
課長確認後の評価 確認欄				
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	ママス は 中央 アンス は アンス に アンス は			